

平成25年度事業計画

この4月1日より、小江戸川越観光協会は新制度による公益社団法人としてスタートしました。今回の制度改革の狙いは、公益性、透明性を兼ね備えた組織運営とガバナンス（内部統制）、およびコンプライアンス（法令順守）の確立です。今後の公益社団法人としての存続の可否については、行政庁の監督下を受けることになり、収支相償などの厳格な基準をクリアし続けることが求められます。さらに、「公益」として不特定かつ多数の利益の増進に寄与することが事業活動の中心になります。

その結果、その厳しい条件をクリアし「公益」のいわば「お墨付き」を得て社会的信用を増やすことができ、公益事業にまい進することの支援として、法人税法上の優遇や、寄付者の所得控除などの優遇措置が可能になります。

しかし、公益社団法人としては、今までのように構成員（社員）である会員だけに限定した「共益」事業は公益性を認められません。「不特定多数」の人々の公益を目指すべく、事業の参加においては、広く一般に開かれた事業推進が求められます。そのために、より多くの皆様が参画しやすい環境を整えるとともに、内なる振興ではなく、観光事業の外からの拡大を目指すべく、周辺地域の観光協会との連携を深めエリアツーリズムを図ることなどで、会員の皆様には、今まで以上のメリットを享受できるよう事業を展開してまいります。

重点具体策（案）

◎会員増強施策

会員増による収入増加を企図しもって事業基盤の安定により収益事業の拡大を目指す。正会員以外の会員やファンクラブ、ネット会員などの幅広い会員組織づくりを検討します。

①エリアツーリズム…単なる交流ではなく、実際にそれぞれの町の特徴を生かした振興策を検討し、順次実行に移しながら効果的な施策を探り当て実施していきます。

秩父

「第1回観光振興実行委員会」…中間地点当たりで立ち上げ、相互の町の観光の特徴やイベントスケジュールを提示し、補完できるものから紹介・物販・招待などの企画を地元を持ち帰り実際に実行する施策を検討します。

「第2回実行委員会」…それぞれ検討した施策を持ち寄り、今後優先的に実施する施策を絞り込みスケジュールを決定します。

その後は、各地域で事業ごとに組織化しそのメンバーが活動の中心になり推進します。

秩父夜祭⇔川越まつり 羊山公園の芝桜⇔喜多院・中院のしだれ桜+新河岸川舟遊など

②商店街活性化の支援

この3月から一番街で始めた「一店逸品」運動にならって、商店街の活成化を支援します。個々の特徴をよく理解した上で、一緒に活性化策を検討し実行に移す支援をします。商店街を紹介するマップの制作に関わったり、そのパンフの配布、HPへの掲載など具体的な施策を提案します。

③ニューツーリズム事業（予算額：100万）

・『体験』をテーマとした事業を推進していきます。『謎解き・脱出ゲーム』等が、最近話題となっているが、川越地域という大きなエリアで行います。スタンプラリーの延長のような形式で暗号などを読み解いてゴールを目指します。暗号設置個所を店舗等にすることで景品などの協賛も得ること視野に入れます。また、暗号を変えるだけでいいので、季節ごとに1回ずつの開催を検討します。

継続的に実施していくことを念頭に徐々に参加者を増やすことで、観光客誘致に繋げる

・ アニメ、妖怪などのツアーやライトアップ、バルなどの川越地域を闊歩する様々な企画を紹介したり提案・実行して行きます。

④ブランド産品事業（予算額：50万）

現状、認知度の低いこの事業をリニューアルする形で普及を図ります。H26年度は更新の時期にもあたり、8-10月にHPなどで新規申請の募集を告知するとともに、上述のエリアツーリズムへの参加や、各種イベントでの物販の場の提供・支援、カタログの作成・HPでの紹介や通信販売などの企画を提案し実行に移して行きます。H26年度のイベントスケジュールを開示し、どのイベントに参加したいか事前に募ります。ブランド事業のネーミングを検討し、公益社団法人名の入ったプレートを新たに作成し配布します。

例) 正式事業名 公益社団法人 小江戸川越観光協会認定 小江戸川越ブランド産品
通称「川越セレクション」

⑤公益社団法人名のプレートの作成（予算額：50万）

「公益社団法人 小江戸川越観光協会」の会員証のプレートを作成し、全会員の方にお配りします。希望される会員の方には、協会会員であることを記載した名刺作成をお手伝いします。

I 観光振興及び観光客誘致事業（定款第4条第1号）

小江戸川越の観光スポットやイベント等の観光情報を発信、紹介し、観光宣伝に努め、次に掲げる事業を積極的に実施し、観光客の誘致に繋げる。

(1) 観光振興事業

ア IT ベースによる情報発信の充実及び、観光宣伝

①協会ホームページの刷新（予算額：150万）

IT での川越観光の情報発信拠点を目指すべく、下記の事項を行う

- ・観光イベント、会員情報の充実
- ・Web バナー広告の検討
- ・フォトライブラリーの充実を図り、画像情報の発信による観光PR促進
- ・インターネット通販の実現に向けて、情報の収集と検討

②情報端末アプリケーションの有効活用

イ 紙面による情報発信及び、観光宣伝

①情報誌「おもてなし」の発行

②観光パンフレット「小江戸川越散策マップ」(50万部)、「小江戸川越散策ガイド」(5万部)の製作（予算額：720万）

③多言語パンフレット、マップの製作、増刷（英語・中国語・韓国語）

④新聞・雑誌・旅行情報誌等への広告掲載（予算額：50万）

- ・埼玉県公式サイト「ちょこたび埼玉」広告バナー等

ウ 土産品の製作及び販売による観光PR

①川越まつりカレンダー等の製作及び、販売（予算額：60万）

②川越まつりの映像化・DVD販売（予算額：160万）

エ 観光に関する問い合わせ対応、観光パンフレットの提供

オ マスメディアとのネットワークの強化並びに、有効活用

(2) 観光客誘致事業

ア 観光キャンペーン等の開催・参加・協賛

- ①川越産業博覧会、流鏝馬、トラベルマート等への参加
- ②その他キャンペーンの開催、参加、協賛
 - ・あやめ祭り・ふくろ祭り・ふるさとキャンペーン等

イ 観光イベントの実施

- ① 小江戸茶屋の実施（春まつり等）
- ② 盆踊り大会の開催（8月開催予定）（予算額：100万）
- ③ 小江戸川越大茶会の開催（11月頃開催予定）（予算額：100万）
- ④ 外国人観光客誘致事業の実施（予算額：20万）
- ⑤ 街バル、ライトアップ（イルミネーション）の実施（予算額：80万）
- ⑥ 他団体との共同事業
 - ・埼玉県、川越市の共同事業「観光資源開発事業」の実施
 - ・レインボー地域をはじめ、秩父、行田、横浜等の広域観光の検討
- ⑦ 花火大会、川越まつりにおける有料栈敷席の実施（予算額：100万・20万）
- ⑧ 主催事業の開催準備及び検討

平成26年度から小江戸川越花火大会開催、並びに、平成27年度から小江戸川越春まつり開催へ向けての準備・検討

{小江戸川越観光推進協議会（川越市観光課）から移管予定}

II 他団体の実施する活動への支援及び能力開発事業（定款第4条第2号）

川越の歴史や文化などの観光資源を維持、発展させようとする他団体への支援並びに、新しい観光資源の開発、ホスピタリティーの向上、ブランド認定制度の実施など、地元の魅力を発展させ、観光産業並びに、文化振興を図る。

(1) 他団体への支援活動事業

ア 川越まつりをはじめ、小江戸川越検定事業等、各種他団体による実施事業への協力

- ①助成による支援（予算額：269万）
- ②後援等による支援
- ③その他、他団体による事業への参画、役務提供等による支援

(2) 能力開発事業

ア 観光資源の開発並びに、観光施策等に関する調査、研究

- ① 着地型観光の検討・滞在時間の延長・街歩き楽しさ演出の研究
 - ・婚活ツアーの実施検討・アニメイベント及び巡礼ツアー
 - ・旧山崎家別邸及び旧鶴川座・織物市場の利活用へ調査研究

Ⅲ 観光施設などの運営及び受託事業（定款第4条第3号）

観光客の利便性向上のため、観光案内や観光施設等の運営を行うことで、さらなる観光客の誘致に繋げ、地域の文化振興及び、活性化を図る。

（1）観光案内事業

ア 川越駅観光案内所他2カ所の業務受託

（2）観光施設等管理事業

仙波東照宮はじめ、観光協会事務局での観光案内
仙波東照宮の公開（日曜・祝日）

（3）川越まつり会館管理事業

川越まつり会館管理業務一部受託

Ⅳ その他、公益目的を達成するために必要な事業（定款第4条第4号）

（1）収益事業

ア 駐車場運営関連事業等

イ 協会オリジナルグッズ及び川越土産品の販売拡充

「川越の水」の製作及び販売

ときもグッズの製作及び販売